

# 2003 明るくい人権の町づくり大会

5月10日(土)、松前総合文化センターで、松前町教育委員会主催・松前町人権対策協議会・企業連合会松前支部・松前町同和教育協議会共催の「2003明るくい人権の町づくり大会」が約500名の参加者のもと開催されました。

松前人権対策協議会会長の開会の言葉に続き、主催者を代表して、赤星教育長が、町内の活動事例をあげ、「更正保護婦人会松前支部の皆さんは、『握手の日』を設け、早朝から古城幼稚園、松前小・中学校の門の前に立ち、子どもたちを笑顔のあいさつとぬくもりのある握手で迎えています。活動をとおして、ふれあいが生まれ、人権の輪を広めることになっていくと考えます。」とあいさつがありました。

次に、永年にわたって人権・同和教育の推進に多大の貢献をされた方に感謝状と記念品が贈られました。また、来賓の白石町長からは「人権

とは私たちが日常生活をしていくうえで、人間が人間として生まれながら持っているものです。皆さんがそれぞれの分野で人権啓発に尽くされていることに感謝し、今後もしっかりとした人権教育の推進活動を望みます。」という激励の祝辞をいただきました。

三好町議会議長、住田県議會議員、亀岡愛媛県人権教育協議会会長代行からご祝辞をいただきました。また、小田松山教育事務所長のご出席もいただきました。

開会行事に続き、北伊予中学校の生徒の皆さんによる人権啓発劇「河童の涙」の発表がありました。生徒の皆さんは、役者として、また、裏方として、それぞれの立場でこの劇の完成のためにかかわりがんばってきました。その劇の準備や発表をとおして、友人関係の中にあるいじめや差別などの問題を、自分のこととして考え、また、学年を越えたメンバーで準備や練習を



▶大勢の方が参加し、講演や劇で人権意識を高めました。

進める中で、相手を思いやる心や協力することの大切さを学んできたようです。

また、記念講演では、講師の秋本先生自らが、一貫して人権・同和教育を課題に啓発教育に取り組んでこられた体験を語られました。人間は誰でも胸をはり、筋をとおして生きるこの大切さや人間としていかに生きるべきであるか、深く暖かい人間愛に満ちた講演をいただきました。

参加された皆さんにも、お互いが支え合い、助け合うことにより、すばらしい仲間ができ、新しい力や意欲が湧いてくるのが伝わり、今後の生き方を考えるよい機会になりました。

前東公民館長 水口 憲三氏

受賞者



前北公民館長 升田 裕康氏



「差別解消につながる見方、考え方」

秋本 良次氏

(宇和島市教育委員会、人権啓発課人権教育係長、全国同和教育研究協議会専門委員、愛媛県人権教育協議会専門部社会教育部長)



▶熱意が伝わる北伊予中学校の皆さんによる人権啓発劇

